

たかのす

7月1日

No.483

発行日 毎月1日・15日



「昔とったきねづか」 縄ないで大ハッスル

初夏の強い日差しをうけ緑が一層色濃くなった6月6、13の日曜日
に各地区では、農作業の骨休めと、豊作の願いを込めて「さなぶり運動
会」が開かれました。各地区で野良着をトレパンに着がえて楽しい競技
が展開されましたが、沢口では、お年寄りの特技を生かした縄ない競争
が行われ、老人パワーは「昔とったきねづか」とばかりに大ハッスル。
競技のあとは、結果を確かめようと目を輝かせ計測に人垣ができていまし
た。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

5月31日現在	(前月比)
総人口 25,345人	(4人減)
男 12,373人	(3人減)
女 12,972人	(1人減)
世帯数 7,249世帯	(2世帯増)



6月定例町議会

出川町長行政報告

五十七年六月定例議会は、六月十五日から二十四日まで十日間の会期で開かれました。初日の十五日は行政報告、提出議案に対する大綱質疑が行われたあと各常任委員会に付託。十七、十八の両日は一般質問。十九日から各常任委員会が開かれ、二十四日本会議を開いて閉会いたしました。

今回の定例議会で、出川町長が報告した行政報告の要旨は次のとおりです。(決定した議案は次回広報で報告します)

産米限度数量は
十九万二千七十一俵

今年の育苗期間中は、変動の大きい気象条件で苗質は一般的に徒長軟弱きみでしたが、田植えは、終期が二十三日頃と平年より四日程度早まりました。

秋田地方気象台発表の六月、八月の天候予報によれば、暑さは永續せず変動の大きい気象が見込まれており、今後の農作物栽培管理には十分な注意と警戒が必要であるため二年続きの冷害の教訓を踏まえ、全果的な「低コスト型高位安定稲作り運動」等とあわせ、町内関係機関や、県ならびに農業団体などと連携を緊密にして対応してまいります。

第二期水田利用再編対策(転作)は、四月十五日付で目標面積四百七十四町を正式配分しましたが、現地確認とあわせ、本年産米の政府事前売渡申込み限度数量十九万二千七十一俵を六月二十五日頃までに農家に配分いたします。

田子ヶ沢に
セリ集荷場

第三期山村振興計画に基づき、田子ヶ沢地区に、セリ集荷場と新築するため今回の補正予算に計上しており、正式認定あり次第発注する予定であります。

農道事業については、五十八年度新規採択農免農道事業として、鷹巣中倍より坊沢中畑間延長二千三百メートル(幅員七〇メートル)を申請しました。

継続実施中の団体営農道整備事業、石の巻地区(事業費千三百万円)、小糠沢地区(事業費千三百万円)、彦四郎沢地区(事業費四百万円)についても予算配分が決定したので工事発注を七月上旬に予定しております。

災害復旧事業については、五十六年災の残地区八十五カ所(農地二十六、施設五十九)の内五十五カ所(農地二十二、施設三十三)が五月中に完了しております。

五月集中豪雨被害
は二千八百万円

五十七年融雪及び五月十三、十四日の集中豪雨による災害の被害額は、二千八百万円で、農業施設十七カ所、農地復旧

三方所となっております。第一次査定は六月一日に完了(融雪災害農業施設三ヶ所、査定額九百四十五万円)しておりますが、五月水害については、七月中旬に査定が行われる予定であります。

林構事業で二カ年継続事業としてすすめてきました、沢口林業センターが五月十五日完成し、六月三日に竣工式をあげました。

営農事業ですすめております基幹林道大摩当線は、田沢地区の三工区二千三百七十七メートル、小摩当地区の四工区四百四十メートル、李岱地区の五工区八百二十五メートル、あわせて三千五百八十二メートルを発注し工事中です。

また、同じく営農事業の峰越連絡林道奥見内線についても、比内町界まで九百八十八メートルが工事中で、本年度で当町内分が完成されることとなります。

町有林整備については、源右工門沢四・五の四内四・〇の間の伐を終了し、部分林岩ノ目沢三・五の間に施肥を実施しました。

印鑑証明はカード式に

印鑑証明制度を改正して、五月一日よりスタートしたカード式変更手続きは、約一万二千五百件の内一カ月で七百五十件(六〇%)程度の進捗率となっております。

国民年金収納率前年
上回る九八・九%

二カ年連続の冷害と、長びく経済不況のなかで心配され国民年金保険料検認(収納)率が最終で九八・九%(全県平均九八・〇%)となり、前年度を〇・九%上回ることでできました。

春の火災予防運動では、町内の小中学校及び病院等を対象に避難訓練を行うとともに、綴子地区を中心とした第二回目の火災防ぎ訓練には、婦人会、少年夜警団も含め約二百五十名の参加がありました。

また、四月六日から行われた春の交通安全運動では、初日の合同查問のあと、大太鼓を模した立看板の除幕式、交通安全仮装行列はじめ朝夕の指導等の徹底につとめた結果、期間中は事故件数ゼロを記録することができました。

保育所入園児 五百十三人

本年度の保育所入所園児は、町立三施設で百五十六名、私立四施設で三百五十七名、計五百十三名となりました。

保育料については、前年度と同様二人以上の園児及び五歳児についての軽減措置をとっております。

中央保育園移転新築事業については、国、県の補助の内示を得たので今回補正予算に計上しており、今年度末までの事業完工を期しております。



旧町の未受診者 には個別に通知

各種検診は六月一日より貧血検診とあわせ、婦人科検診（目標・千四百五十人）を実施しており、胃集団検診（目標・二千六百人）は七月一日より二カ月間の予定で、特に旧鷹巣地区の二年間未受診者に対しては、個別通知をして受診を促します。

また、結核検診は、目標六千五百人に對し八月六日より約三カ月間で実施します。

春の全町河川クリーンアップは、天候の関係から二回にわたり行いました。年々ごみの不法投棄は減少しているも

の、参加延人員千二百余人の収集量が四十八トンもありこれらの処理には、建設省出先機関、土木事務所、委託業者の応援を得ました。

国保事業は、被保険者が一万七百七十七人、加入率四二・六%、と減少傾向にある反面七十歳以上の被保険者が千九百人（二〇・三%）と急速に高年齢化がすすんでおります。各種検診を積極的に受け医療費増高の抑制をはかるため負担分の助成措置を行います。

地籍調査は 測量撮影

かねてより交渉中でした鷹巣小学校用地二万八千四百七十九平方メートルの代金支払も終り、目下所有権移転の登記作業に入っております。

また、この事業用地の代替地については農業委員会に申請準備中であり、許可あり次第すみやかに所有権移転登記手続きを行います。

地籍調査事業については、今年度実施区域の土地所有者に対する説明会を四月上旬に開き、実施面積十・四六キロ平方メートルの測量事務も発注し現在撮影工程の作業中でありま

また、昨年度の事業四・三〇キロ平方メートルについては、補助測量に入っており、七月中旬より八月上旬までに地権者の閲覧後、国土庁の認証を得て登記作業に入ります。

松原・岩谷線の 改良工事を発注

建設関係では、本年度になつてから道路維持工事を太田、糠沢線外六件を約千五百万円で、道路改良工事を松原、岩谷線に約四千八百万円、橋梁新設工事として秋田渡橋外一橋に上部工、取付道路を含み約二千二百万円でそれぞれ発注しました。

また、部外工事として自衛隊に委託した松原、岩谷線の改良工事（延長千六十メートル、幅員五十七・八メートル、土量四万五千二百立方メートル）は五月十八日より着手しております。

上水道は六百七十 八万余円の純利益

上水道事業については、五十六年度決算において六百七十八万九千九百六十円の純利益を上げることができ、未処分利益剰余金として六百九十三万九千五百五十三円の決算状況



となつております。

また加入状況としては今年度延長計画件数二千七百二十一件に対し、五月末日現在で二千六百七十八件の実績となつており計画に対する普及率は九十八・四%であります。

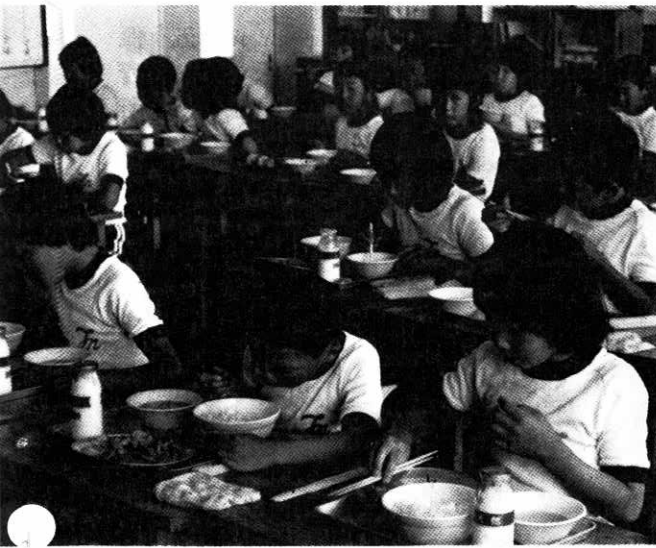
簡水事業においては、綴子地区の岩谷から二本杉間の送水管の一部の布設替工事を実施しました。

摩当地区簡水事業については、単年度事業として国、県に要望しておりましたが、このほど補助金額の内示があり、五十七年度枠配分として要望額の六割と決まり二カ年継続事業となりました。

本年度の事業費は九千六百三十二万三千円となり国庫補助金二千六百十四万八千円、起債額四千九百四十万円で、一般会計繰入金二千七十七万五千円の見込みで、今議会に補正予算を計上しております。

鷹小建築は二カ年継続で

鷹巣小学校敷地の造成関係については、五ヶ所のボーリングによる地質調査を終え、排水路の付替工事、盛土造成工事等の準備をすすめております。



校舎建築については、危険校舎分二千九百六十六平方メートル、資格不足面積分三百二十平方メートルの補助金の見とおしがつき、二カ年継続事業として、今回の補正予算に計上いたしました。

また、不適格校舎として申請中の鉄筋校舎ならびに体育館については、去る六月一日文部省管理局から担当官が来町し、校地の規模、借地の状況、転用計画、新敷地等について現地調査を行なっております。

米飯給食は

週三回実施

学校給食については、昨年九月から米飯給食(委託炊飯)を実施しておりますが、米飯回数のアンケート調査等をふまえ、五月からは週三回(火、水、木)に増やしました。これにより、年間給食日数は、米飯百二十日、パン給食八十日となります。

五月十日から勤労者体育センター(プール)を開館しておりますが、主に小学生、幼児が利用しております。

また、陸上競技関係では、第二十回目の河田杯マラソン大会が四月二十四日に開催され、陸上競技上では、県北高校陸上競技大会、全県都市対抗陸上競技大会とつづいてお

り、八月二十日から三日間第三十六回全県青年体育祭が予定されています。

町民税等の課税

八億九千万余円

本年度の町民税・固定資産税・軽自動車税に関する課税事務も概ね完了し、概要状況及び課税状況調等の作業に入っておりますが、現在の状況は、▽町民税||納税義務者一百万八十三人(前年度対比一〇三%)、調定額四億九百八十一万七千円(前年度対比一〇六%)、▽固定資産税||納税義務者八千七百五十八人(前年度対比一〇三%)、調定額四億六千八百七十五万九千円(前年度対比一一五%)、▽軽自動車税||納税義務者六千二百人(前年度対比一〇五%)、調定額千二百三十七万九千円(前年度対比一〇五%)となっております。

特定地方

交通線対策

阿仁合線沿線各町村も含めた「角館線特定地方交通線対策協議会」は去る一月二十九日正式に発足し、五月十一日に第二回目の会議を開きましたが、阿仁合線とつないだ鷹角線として、第三セクターで経営を引き受けた場合の転換条件等に対し、明確な回答がないため具体的内容にはいれず、次回以降の協議会に明示するようつよく申し入れをしております。

一般会計二億円繰越見込み

五六年度各種会計は、五月末日をもって出納閉鎖を終り、決算事務の整理作業中ですが、その概要について報告します。

一般会計は、歳入総額四十九億三千八百二十七万八千円、歳出総額四十七億三千四百三十四万六千円、差引残高二億三百九十三万二千円となっております。

また国保会計は、歳入総額十億五千二百八十五万二千円、歳出総額九億六千六百五十八万円で、差引残高八千六百二十七万二千円となっております。

なお、各特別会計についても繰越金が生ずる見込みであります。

成人記念作文の募集

昭和五十七年度の成人式は、次のとおり行なうことになりましたが、教育委員会では、この機会に成人された皆さんから作文を募集し、若人の建設的な意見をとり入れた新しい町づくりの糧にしたいと考え、左記要項で、成人記念作文を募集することにしました。

募集要項

- ▽資格||今年、成人式を迎える男女
- ▽題||成人になって思うこと、家をはなれて思うふるさと、こんな鷹巣町にしたい、職場(サークル等)を通しての生きがい私の人生観。
- ▽字数||四百字詰原稿用紙五枚以内
- ▽選考||優秀作を若干名
- ▽発表||本人へ直接通知すると同時に町広報、新聞に掲載します。また成人式当日、会場で作文を朗読していただきます。
- ▽締め切り||七月三十一日
- ▽応募方法||教育委員会(または中央公民館)へ郵送または直接お届けください。
- ▽その他||優秀作に選ばれた方には、薄謝をします。

成人式のご案内

本年度の成人式は、八月十五日鷹巣町中央公民館において行います。今回成人式を迎える方は、昭和三十六年四月二日から昭和三十七年四月一日までのあいだに生まれた町内居住者(六月二十日現在)となっております。のちほど案内状を差し上げます。

なお、就職、学生等で町外に出ている方でも、参加を希望する方は、家族を通して八月五日まで、住所、氏名、生年月日、世帯主名、続柄を教育委員会社会教育課にご連絡ください。

☎ 二局一―一番、内線二六四となっております。

56年度 社会福祉協議会決算

町民の善意三百九十四万円

社会福祉法人鷹巣町社会福祉協議会では、経済的に恵まれな
 い人や、福祉の援助を必要とする老人、心身障害者等の方々に
 対して、次のような事業を実施。側面から手助けしてきました。
 同協議会では、このほど五十六年度の収支決算が、次のとおり
 承認されましたので報告いたします。町民のみなさんからは、
 香典返しなど三百九十四万五千円の善意の寄付をいただき、こ
 協に深く感謝申し上げます。

昭和五十六年度、社会福祉法人
 鷹巣町社会福祉協議会の収入、支
 出は次のとおりですので、報告い
 たします。

収入総額三千二百八十五万七千
 七百七十五円、支出総額三千三百三
 十九万三千六百六十六円、差し引き
 百四十五万八千六百九十九円の剰余金

(収入)

- ▽会費九万九千五百円普通会
 員二百二十三人分(一人五百円)と、
 賛助会員十九人分(一人二千円)
- ▽共同募金配分金四百八十八万三千
 九百五十五円共同募金、在宅
 福祉サービス事業、歳末募金、
 県社協のそれぞれの配当金
- ▽補助金五百九十七万八千三百二
 十円町補助金五百八十一万四
 千円、県社協補助金十六万四千
 三百二十円
- ▽委託金千四百三十三万九千八百
 五十一円家庭奉仕員、在宅相
 談員、保育園給食助手、児童館
 職員委託料
- ▽寄付金三百九十四万五千五百一
 十円香典返し三百二十二万五千
 円、一般寄付六十七万五千五百一
 十円指定寄付五万円
- ▽財産収入十四万二千円基本財
 産利子



- ▽繰入金四万五千九百九十四円心配
 ごと相談所、世更資金、たすけ
 あい資金のそれぞれの繰入金
- ▽繰越金二百八十四万七千六百円
- ▽諸収入六十五万四千九百四十四円
 預金利子、火災共済事務費など

(支出)

- ▽会議費十六万七百七十円理
 評議員の手当、旅費および会議
 諸
- ▽職員費八百八十一万二千七百七十二
 円
- ▽事務費七十五万八千六百六十六
 円
- ▽事業費五百四十三万七千七百四
 十四円地域福祉活動推進費百
 八十三万九千四百二十四円は、
 福祉の町づくり運動、在宅福祉活
 動費、ボランティア育成、旅行
 困窮者旅行(三十人)、長期入
 院患者見舞金、大会参加費など。
- 福祉振興費九十九万七千七百円は、
 集落会館の遊具、母子、老人、
 身障福祉、日赤奉仕団、少年赤
 十字団、特殊学級、遺族会など

昭和三十年の町村合併とも
 に「広報たかのす」が発刊され、
 今回で四百八十三号を数えるま
 でになりました。

ご存じのとおり、広報は、町
 行政と町民を結ぶパイプ
 役として、いままでも多く
 の役割を果たしてきていま
 す。と同時に「町の生き
 た歴史」として、町民に

大事に保存されているようです。
 町では広報を大切に、見やす
 くするため五十二年分から年次
 ごとに製本。学校や図書館に備
 え付け、郷土の歴史の勉強や資

町の生きた歴史 広報の保存版はいかが

損によって町の大切な資料や歴
 史が不明になりかねません。
 そこで、これらの貴重な資料
 を永久保存するため、今回二百
 五十万円の経費をかけて、マイ

クロフィルムによる複製印刷す
 ることになりました。
 全号千七百ページで、四冊に
 分けて発行することになります。
 町では、保存用として五十部
 を印刷しますが、この際
 町民の方で購入を希望さ
 れる人には、実費(四冊
 で五千円の予定)で領布
 いたします。

希望者は七月三十一日まで、
 町役場総務課広報係
 ☎②—1—1—内線二四四：あ
 て、申込みしてください。

町長 日誌

6月1日(6月15日)

- 2日 女子(日立村ユニチカ)
 バレーボール対抗戦
- 3日 沢口林業センター竣工式
- 4日 町老人クラブ連合会総会
- 6日 綴子・坊沢・七座・栄地
 区体育大会
- 7日 町食品衛生協会二十五周
 年調理師会三十周年記念
 大会
- 10日 秋田県道路利用者会議
 大会
- 11日 秋田市
- 12日 大野台地域開発方策調査
 委員会
- 13日 町遺族連合会総会
- 14日 合川町長受章祝賀会
- 大野台開発講演会(森吉町)

運動会

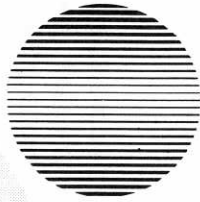
ふれあい「もとめ



▲開会式には幼児も大人も参加して、堂々の入場行進

一年続きの冷害に、暗い表情で春を迎えましたが、農家では「冷害の教訓」を胸に秘め、懸命に農作業を進めてきました。

五月は不順だった天候も、六月に入って晴天に恵まれ田圃も緑深く色づきはじめ、農家では、日増しに



▼酒くみ競争に汗だくの壮年



▲縄ないにも流派があります!!
立ったり座ったり

日は、七座、坊沢、綴子、栄の四地区。十三日は、沢口、七日市で行われました。

種目は、百びやマラソンの走競技のほか、遊競技では地区ごとに趣向をこらした「タケウマ」、「縄ない」、「酒くみ」、「ラムネ飲み」などの昔



▼貫禄十分な婦人のリレー……



▲日頃鍛えた威力を発揮!!

さなぶりでも「おらが」 「体づくり」と



▲応援にも力がこもる一戦

ざやかな会話が交されるようになり
ました。
天候も回復し、農作業が一段落し
た六月は、農家の慰安をかねた「さ
なぶり運動会」が各地区で開催。六
なぶり運動会「が各地区で開催。六
なぶり運動会」を盛りあげ、家族
総出で、体づくり」と地域の「ふ
れあい」を深め合っていました。

なつかしきクラシック競技から、世相
反映した「米消費拡大競争」などで



◀ 晴れのち曇り＝オコシとフンドシ
がよくかわきます



▶ 競技のあいまに婦人のマスゲーム
が色を添えました

▶ 思うようにいかず悪戦苦闘



水管理と



町農業指導センター

七月は、栄養生長から生殖生長へと変わる時期で、稲の一生のうちで、最も天候や水管理などに左右されやすい重要な期間です。

町農業指導センターでは、鷹巣農業改良普及所の協力をえて、稲の順調な生育を助けるため、水管理と穂肥について、次のとおり指導しています。

水管理

1 幼穂形成期から穂ばらみ期

低温時の不稔障害や、高温による酸素不足の影響も出やすいので気象に応じた水管理を行うよう心がけてください。

▽平均気温二十度。最低気温十七度を下まわる場合は、水深六センチ程度にすること。

▽最高気温三十度以上では、浅水とし二十〜二十五度の水をかけ流して根腐れ防止に努めること。

▽山沿山間部では、気温との関係で低温の場合は昼間止水、夜間

穂肥に注意

灌水などを行うこと。(ポリチューブやウキマルチなどを利用)

2 中干し

中干しは、ガスぬきををし、根腐れを防ぐため、有効茎確保後(七月上旬)から除々に行う。中干しの期間は、田圃によつて差がありますが、七〜十日間ぐらいが目安で、田面に軽いヒビが入る程度が適当です。

また、強い中干しのあとは、甚水すると急に土の有機物が分解し根を傷めたり、再び窒素が出るので、間断、灌水することが望ましい。

ただし、生育の悪い場合やいもち病発生田では、中干しは行わないようにしてください。

穂肥

穂肥を投入する場合で大切なことは、時期と栄養状態です。

もし、これを無視してやると、逆に倒伏や登熟不良となったり、

いもち病などの発生をまねく恐れがありますので十分注意をしてください。

▽穂道分化期(出穂三十〜三十五日頃) この時期の追肥は、二次枝梗を増やし全体の粒数増加につながりますが、反面、下部節間を伸ばし倒伏につながり米質を悪くするので、特別な場合以外はやらないこと。

▽幼穂形成期(出穂二十五日前頃) この時期の追肥は、粒数の増加につながりますが、逆に登熟の歩容を低下させることがあります。

アキヒカリやアキユタカなど葉の色の淡いものは追肥を考えましょう。

▽減数分裂期(出穂十〜十五日頃) 粒の退化を防ぎ登熟を良くし、粒を増す効果があり、倒伏の心配はありませんので、追肥を行うべきです。

いずれの場合も一回の施肥量は窒素成分で十〜廿あたり一・五〜二・程度。また同時施肥としてカリも効果的です。



工事中

〔河川災害復旧工事〕

- ▽工事場所 湯車川右岸(脇神宇湯車滝の下地内) ▽請負額 百二十万二千円 ▽請負者 米代川商事・丸島武松
- ▽工事場所 湯車川右岸(湯車堂の下地内) ▽請負額 百十三万円 ▽請負者 小猿部建設・関竹雄

〔舗装新設工事〕

- ▽工事場所 坊沢 前山線(坊沢黒沢地内) ▽請負額 千三百万円 ▽請負者 佐藤建設・佐藤清治
- ▽工事場所 堂ヶ岱 藤株線(脇神宇赤川谷地内) ▽請負額 千二万円 ▽請負者 東北ニチレキ工
- ▽工事場所 吉野線(七日市宇吉野) ▽請負額 三百六十五万円 ▽請負者 秋田土建・北林庄作
- ▽工事場所 堂ヶ岱 川口線(脇神宇川口地内) ▽請負額 三百八十万円 ▽請負者 東亜道路工業・高橋正

〔排水改良工事〕

- ▽工事場所 古堰線(宮前町地内) ▽請負額 千九百万円 ▽請負者 堀井組・堀井三治郎
- ▽工事場所 学校通り線(宮前町地内) ▽請負額 千二百万円 ▽請負者 北秋建設・渡辺昌

7月1日は 国民安全の日

- ※ 子供や老人の事故防止につとめましょう
- ※ 労働災害の防止や、作業の安全につとめましょう
- ※ 灯油やプロパンガスの保管や安全点検を行いましょう
- ※ 災害に備え、防災体制を整えましょう

水難事故防止強調月間

7月1日〜31日

- 子どもを水の事故から守るよう、みんなで注意しましょう
- ▽小学生、幼児等だけで水遊びさせない
 - ▽雨で増水したときは、河川にちかようせない
 - ▽付近の用水路、防火用水等の点検

「お年寄りの心の支えに」

青山観音を建立

保護者会の善意により



特別養護老人ホーム青山荘（藤島直一理事長・百七人収容）では、物故者の霊を慰めるため、観音像が建立され、六月八日午後一時三十分から開眼式が行われました。同施設が綴子字釜場脇に建てられて十二年目を迎えました。その間入所されていた方のうち百六十人が、この世を去られました。こうしたことから同保護者会（村上鉄治会長）では、物故者の霊を慰めるため観音像の建立を計画しました。

資金はすべて会員のカンパによってまかなわれ、男鹿石の台座に青銅で作った高さ二・一メートルの「聖観世音菩薩像」は製作費百六十万でした。

開眼式は、県、町の関係者や、保護者、入所者など多数が出席して除幕、入魂、開眼の行事が行われました。

同像は「青山観音」と名づけられ、関係者からは「入所しているお年寄りたちの、心の支えになります」と喜ばれていました。

交通遺児奨学生募集

財団法人交通遺児育英会では、保護者が道路上の交通事故で死亡したり、重い後遺障害で働けないため、経済的な理由で進学が困難な子どもたちに、次のとおり奨学金を出しています。

〔高校奨学生〕

▽応募資格▶来春高校、高専進学をめざしている方
▽奨学金▶県公立は月額二万円、私立は二万五千円
▽募集人員▶全国で二千人

▽返還▶二十年間割賦返済・無利子
▽採用方法▶書類審査のみ
▽申込期日▶五十七年七月三十一日
▽方法▶出願書類は学校にあります
▽入学一時金▶私立高校入学の場合は奨学金の他に入学一時金二十五万円を貸与する制度があります。

〔大学奨学生〕

▽奨学金▶一般貸与月額三万円
特別貸与四万円▶募集人員▶予約採用（高校三年）三百五十人
大学在採用（大学一年）百人
補欠採用（大学二年以上）二十人
▽返還▶高校と同じ
▽採用方法▶面接と簡単な筆記試験
▽入学一時金▶私立大学に入学した方には、三十万円を貸与する制度があります。

▼くわしくは、財団法人交通遺児育英会（〒一〇〇東京都千代田区永田町一―一―二八〇（〇三）五八―一―二二七）へおたずねください。

青少年を非行から守る

全国強調月間七月一日～三十一日

七月の一カ月間を「青少年を非行から守る全国強調月間」として、県と町が協力して、この運動を進めることになりました。

最近の青少年の非行は、五十三年から急激に増加して、戦後最悪の状態になり、第三のピーク期とも言われております。

このため、この運動を契機に地域社会の連帯と融和を深め、地域

あなたが選ぶ

東北の三十景

山と湖の自然に恵まれた東北地方には、全国的に名の知られていない景勝地がたくさんあります。

東北郵便局では、あなたが選ぶ東北三十景を次のとおり募集しております。

この機会に、中央公園や大野台、小又峡と大平湖、小安峡など鷹巣阿仁の観光地を応募してはいかがでしょう。

▽応募方法▶ハガキに観光地名一カ所と、あなたの氏名、住所年齢を記入のこと。

▽締切り▶昭和五十七年七月二十三日（当日消印有効）

▽あて先▶〒九八〇仙台市一番町一丁目一―三四・東北郵政局内

みなさんの協力のもとに、青少年の非行防止と明るい家庭、社会を築くために努力しましょう。

鷹小鼓笛隊パレード

青少年の非行防止を呼びかけて、七月一日午後三時から鷹巣小学校ドラムバンド・鼓笛隊により、駅前から役場前までパレードが行われます。

「愛の血液助け合い運動」



■7月1日～31日■

夏場は血液が不足しがちです。行楽に行く前にまず献血を。

体力づくりに おてつだいします

社会体育



教育委員会では、町民の健康増進のため、施設の活用だけでなく職員が手助けできる事業を企画し多くの人々の参加をよびかけています。

ゲートボール
初心者のための指導します
やってみると面白くてやめられないといわれるゲートボールは、運動もさして激しくなく体力に合わせて調整できるので高齢者から大もてです。町内の老人クラブでは鷹巣地区・七座地区・綴子地区が盛んで、講習会や、部落対抗の試合などを行っています。

ボールを打ってゲート(門)をくぐらせるこのゲームは、五人が一組。第一ゲートから第三ゲートまでを通過してゴールにゆくもので、ゴルフの小型のようでもあ

り、昔遊んだビー玉ころがしにも似ていて、お年寄り方を少年時代の気持ちに若返らせているようです。用具も一そろい三万円たらずで購入できますので、各単位老人クラブで準備し、健康づくり、仲間づくりのために、大いにすすめたいところです。

体育館では初心者のために、要請があれば、用具をもって、出かけてゆきいろいろ指導します。また、用具だけでも貸します。ご利用ください。☎ 二一三八〇〇へ申込みください。

職場体力テスト
実施してみませんか
「明るい職場はまず健康から」そのためにはまずみんなが自分の体力を知って、それに合わせた健康の管理をする必要があります。

体力テストをしてみると、自分の体力が意外によく、若さがあることがわかったり、ある部分の能力の落ち込みに気がつくことがあります。

体育館では、体力診断の結果に即応した、運動のあり方について相談に応じます。

種目は「反復横とび」「垂直とび」「握力」「ジグザグドリブル」「急歩」をセットしたものでやります。

職場・グループ、からの申し込みがあれば、ご相談の上、日時を決めて実施します。

また、要請があれば地区の公民館や、集落に出かけて行つての実施も考えています。運動のできる服装・内ズック・汗ふき持参のこと。

**プールで
自己の記録に挑戦しよう**
町営プールは今を盛りとにぎわっています。土曜・日曜が特に多く、一日四百人も入った日もありました。毎日、平均すると三十人はきています。

さて、暑いから、水浴びにというところもありますが、せっかくですから、泳ぎの技能の向上をめざすようにしていただきたいものです。

七月から九月までの毎週火曜・十六時〜十七時、十八時三十分〜十九時三十分までの二回
自分にあつた内容を決め、種目に挑戦・距離に挑戦、時間に挑戦してみませんか。プールの事務室にお申し込みくだされば、職員がご相談に応じます。

ふるさと 人物伝 27

すのうちたぞう 藤内多蔵

一八九四—一九五九



多蔵は明治二十七年、七座村今泉、藤内茂吉の長男として生まれた。七座小学校卒業後、当時全県唯一の大曲農学校に合格したが、折よく鷹巣にも農林学校ができたので、こちらに入り大正元年、郡立鷹巣農林学校の第一期生として卒業する。

彼は何ごとにも積極的で、多くの要職につき、村の発展に献身努力する。大正六年より昭和十七年まで在郷軍人分会長。昭和十四年より終戦の二十年まで七座村農会長。その他警防団長をつとめ、終戦後は公選制による教育委員に当選、昭和三十一年からは合併鷹巣町の町会議員となり現職のまま死去(六十五歳)

昭和十七年のことである。農

会長の彼は九州熊本県に行き改良和牛(赤ペコ)百三十頭を買い入れ臨時貨物列車に乗せて意気揚々と鷹巣駅に到着した。

荷をおろそうとしたら、「その牛、おろしてならぬ」との指令が県から入った。「秋田県は軍馬の生産地であるのに牛を入ると馬の徴発ができなくなる」というのが理由である。莫大な代金を支払って、ここまで来たのに荷降しできなければ破産である。

彼はすぐ県庁畜産課にゆき、使える馬はすでに徴発されつくしこのままでは農耕ができなはいばかりか堆肥もできない」と説得し認めさせた。牛の組合員は百八十人に及び、戦後貧窮時代の家計と農耕に大きく役立ち、感謝のために薬師山に牛神社が建てられた。この神社は全国に京都と二つだけである。

また彼は、北海道小樽の漁業組合と契約し、大謀網に使う縄を、各戸になわせ、大量に販売した。耕地面積の少ないこの地区の農家の人々が、秋から冬にかけてどここの家でも縄な機をガラガラ鳴らして得た収入は、どんなに生活をうるおしたかしない。

その他、昭和八年に、郵便局と役場に初めて電話架設するなど、彼の足跡は大きかった。

※ 資料一、ご長男・藤内茂彦氏(前七座郵便局長)の話による。

中央公民館長 長崎 久



親と子でデッドヒート

綴子走友会（佐藤国男会長）では、地域にジョキングの輪を広めようと、「第2回走ろう歩こう会」を6月13日開催しました。同大会は綴子小をスタート。2、4、16キロコースで競技が行われました。参加者は、4～5歳の幼児から中年までの150人余りが出場。2キロコースでは、親子のデッドヒートや、母親に背負われてゴールするほほえましい光景がみられました。



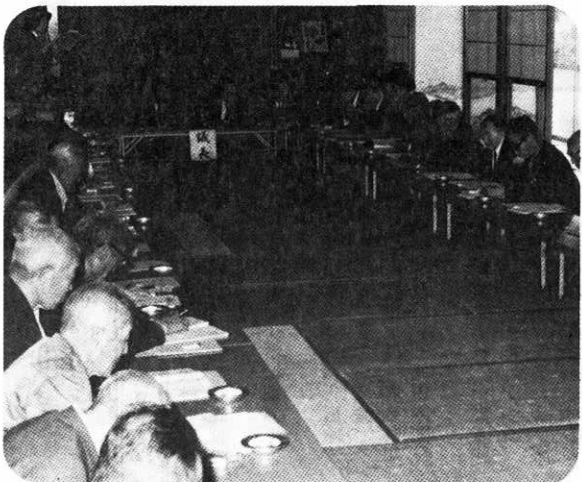
栄養の秀れた食品を清潔に

鷹巣食品衛生協会25周年・調理師会30周年記念大会は6月7日、中央公民館で開かれました。当日は関係者ら350人余りが参加。料理コンクールや食品パネルを展示。寿しやそばを無料サービスするなど町民からも喜ばれていました。また大会では「おいしく栄養の秀れた食品を清潔に」とスローガンを採択。「技術の研鑽と食生活の安全」を宣誓していました。



町内最大の組織を誇る町老人クラブ連合会（会員・2,330人）では、6月4日午前10時から青葉荘で定期総会を開催。高齢化の進むなかで、社会に役立つ老人のサークルとして会を発展させるため、組織の強化、明るい社会づくり、生産活動などを進めることになりました。新しい役員は、会長に長谷川真一郎、副会長に木村喜八、小坂保雄、佐藤徳治郎各氏が選ばれました。

役立つお年寄りを目標に



鷹巣保育園と鷹巣教会幼稚園の園児は、日頃お世話になっている職場に花のプレゼントをしました。

園児が家の庭に咲いている花を持ちよったもので、官公庁や病院などを、かわいい花の使者が訪れて、アヤメ、シャクヤク、ボタンなどの花束を手渡していました。職場では、さっそく花ピンにさして、机の上やカウンターに飾っていました。

職場にかわいい花の使者



公民館のページ

前回に引き続き、各地区公民館の五十七年度の主な事業を紹介いたします。

〔七市市民館〕

▽ねらい

集落(部落)が散在しているため、地域の連帯を第一主眼にしなが、コミュニティスポーツの振興、地域住民の健康管理、生活合理化などを、住民と一体になりながら進めたい。

▽主な事業

▽成人関係 地域産業の将来展望について語る会、経済問題懇話会
地域づくりコミュニティスポーツの実施(竜森地区)、生活会議の実施

▽婦人関係 生産学習(野菜づくり、花づくり等)、健康づくりに関する学習、生活合理化の推進

▽青少年関係 子供会、世話人会のリーダー研修、他地域子供会との交流会、新成人との対話会

▽高令者関係 老人と子どもの交流会、民芸品の製作、郷土の歴史を語る会

〔鷹巣地区公民館〕

▽ねらい

ドウナッツ現象と言われる鷹巣地区を盛り上げる為、町内自治会長会議を中心に、より緊密な仲間意識を高揚させると共に、各種学習グループの育成に努める。

▽主な事業

▽成人関係 町内自治公民館リーダー研修会、産業経済に関する夏季教養講座の開設

▽婦人関係 各町内婦人学級の充実と未設置町内への働きかけ

▽青少年関係 青年交流会、新成人研修、鷹巣親子会の研修、青少年健全育成座談会

▽高令者関係 三つのコース(ボランティアコース、体力づくりコース、学習コース)に分けて、活動する。

▽その他 時間を守る運動の実施
町内清掃日の設置、呼びかけ、声かけを通して青少年健全育成の推進

町民会議総会は

七月四日(日曜日)

昨年の十一月に発足した、青少年育成鷹巣町民会議(中島喜代会長・会員三百八十人)の総会は左記の日程で開催されます。町民会議の会員は勿論ですが、健やかな子どもの成長を願う方、多数ご参加くださるよう、ご案内いたします。

▽期日 七月四日(日)

▽時間 午前九時三〇分

▽場所 鷹巣中央公民館

▽内容 町民会議の事業計画、などの外に、子ども達による郷土芸能の披露もあります。



「秋田県婦人生活史」

—生活記録文募集—

県では、婦人問題に関する明治以降の秋田県婦人生活史編さんを進めています。

それで、明治から戦後の現代までの秋田の風土に生きたそれぞれの婦人の生活体験の生活記録文を募集しています。これは昭和六十年刊行の「秋田県婦人生活史」に掲載するものです。

▽応募方法は

▽主題 明治に生きて、大正のめざめ、昭和の嵐、戦後の自立

▽テーマ 主題に沿って自由
例、農村婦人の暮らし、鉱山に働いて、銃後の婦らし、鉾山に性の苦悩、(自分から見た母親

の生活記録でもよい)

▽四百字詰原稿用紙 六枚以内

▽募集締切 昭和57年10月25日

▽応募資格 満20歳以上、県内の生活体験を有する婦人

▽送り先 鷹巣町中央公民館

郷土史年表

56

西暦	昭和	年号	事項
一九三五	昭和一〇	一〇	○十月 下賜金により、坊沢村では本村五箇所に郷倉設置、栄村では既設の郷倉を改築す
一九三六	一一	一一	○十月二十六日 沢口小学校創立六十年式挙行 ○一月七日 和田喜八郎氏六十五歳で没(秋田師範学校校長、県教育会長) ○二月二十六日 午前五時・在京陸軍の一部、重臣を襲撃暗殺、岡田内閣総辞職、「二・二六事件」と称す。 ○三月十三日 沢口小学校、中島京四郎氏の寄付金と積立金で電灯がつく ○四月 栄橋東側流失、摩当および沢部の児童は摩当会館で授業をうける ○五月二十一日 黒沢小学校、保護者会をつくる ○八月十二日 第十一回、ベルリンオリンピックで前畑秀子が女子競泳で優勝す ○九月十二日 明治天皇御巡行の期日をもって、「綴子村記念日」を制定、高橋丈一氏、九島堅之助氏の講演会を開催す ○九月二十五日 阿仁合線全通(阿仁合まで) ○十月四日 大暴風雨、風速三〇メートルで鷹巣小学校地内の立木二十本倒れる。 ○十一月十六日 結核予防に関する旗行列実施(綴子小学校) ○十一月 北秋田郡各種団体連合会事務所新築落成す

(次号につづく)

みんなの広場



レンゲツツジ

ツツジ科

方言でドウツツジ、花色に
変化がある。庭木によい。

(南小学校 島山益穂先生)

入るを計って

出づるを制す

東横町 成田 ミネ (54)



生活の見

直し・生活の合理化と云う問題が、大きく私達の周囲に聞かれて、もう久しいこの頃ですけれど思う様に実績が伸びず、ますますその必要性が呼ばれております。その原因はどこにあるのでしょうか。個々の生活にあまりにもミ



わたしのおかあさんは、わらうと目がほそくなつてやさしいかおになります。それにおかあさんははたらきものです。あさの五じはんにおきて田んぼにいけます。いつもだまってはたらいいます。よる八じじやないとかえつてきません。とてもしんばいいます。よる

わたしのおかあさん

さむいから、わたしはおちやかなにかもつていつてあげます。



西小学校 2年

佐藤 めぐみさん



豆腐を夏の食卓に

植物たんぱく

王者、豆腐。栄養価が高く、口当たりがよく、しかも消化がよく、食欲の衰えがちな夏にはもってこいの食品です。

私の好きな昔の諺に「入るを計って出づるを制す」という経済の原本みたいな言葉があります。古き時代に生きた人の「くらしのちえ」はすばらしいと思います。

この短い言葉の中には「千金の重み」があります。自分の生活は自分なりに合理的に営むことを如実に表現しているし、いつの時代にも通用することだと思えます。

七月の町内の祭典が近づくと、主婦達の話題は接客料理の事で、にぎやかになりますけれども要は自分の経済能力に合った接待で充分だと思ふし、終つてから家計の苦しさを味わうより、祭典の原点を今一度考える必要があるのではないのでしょうか。

夏の豆腐料理というとなつ先に頭に浮かぶのは冷ややっこですが、毎度同じ薬味、たれではあきてしまいますから、時には目先をかえてみましょう。

ちしますから、少し多めにつくっておき、これをだしてのばしてサラダ油を少したしてコクを出したり、ひき肉をまぜたりして豆腐にかけます。薬味には青ジソを。若い人には、重しをして水出した木綿豆腐に、小麦粉をまぶしたチーズをはき込み、フライ衣をつけて揚げると喜ばれます。

たかのす文芸

おこられた

綴子小学校四年 岩川 律子

お母さんにおこられた

わたしは

わたしは 風にゆられてない

風は なくな なくなとわたしに言った

とてもわたしには なきやめられない

家の中にはいつてから

お母さんにまたおこられた

ごはんも食べないで ふとんの中でない

わたしは

弟が来て なくなと言った

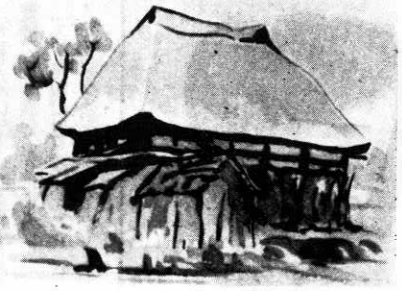
でもわたしは だまってい

わたしは またおこられると思

口をきかなかった

お母さんにも 弟にも

おしらせ



一編美術会重宝委員 九島繁二氏

七月の健康相談

七月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十四日と二十日です。
時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、五日と十九日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について。時間は、午前十時から十一時まで。

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◇ 離乳食実習指導は、十五日、十六年十二月生まれとなつています。

◇ 受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◇ 乳児健康相談は、十五日、十七年三月生まれとなっています。

◇ 受付時間は、午後一時から一時半まで。

◇ 三歳児健康診査は、八日、十五年五月、六月生まれとなっています。

◇ 受付時間は、午後一時から一時半まで。おいでの時は、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

◇ ※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。

七月は、▽二日、▽七日、▽十四日、▽十九日、▽二十四日、▽二十九日、▽三十一日、▽八月一日、▽八月六日、▽八月十一日、▽八月十六日、▽八月二十一日、▽八月二十六日、▽八月三十一日、▽九月五日、▽九月十日、▽九月十五日、▽九月二十日、▽九月二十五日、▽九月三十日、▽十月五日、▽十月十日、▽十月十五日、▽十月二十日、▽十月二十五日、▽十月三十日、▽十一月五日、▽十一月十日、▽十一月十五日、▽十一月二十日、▽十一月二十五日、▽十一月三十日、▽十二月五日、▽十二月十日、▽十二月十五日、▽十二月二十日、▽十二月二十五日、▽十二月三十日。

訪問時間は、午前九時から午後四時まで。
※旧鷹巣地区は、中央公民館保健室で行います。(第一・第三曜日)

税務大学生募集

国税庁では、税務大学校受験を募っています。

これは、国家公務員採用初級試験(税務)に合格し採用されますと、実務に従事する前に専門教育を受けるため、給与をもらいながら約一年間の研修を受け、卒業と同時に税務職員としての地位が保障され、国税の仕事に従事するというものです。

募集要領は、次のとおりです。
▽受験資格は昭和三十七年四月二日から昭和四十年四月一日までに生まれた者
▽申し込み期間は七月七日から七月十六日まで
▽試験日：第一次試験(十月三日)第二次試験(十一月中旬から十二月月上旬までの間の一日)
▽合格発表は十二月中旬から下旬
▽申し込み先：仙台市本町三丁目三十一 仙台合同庁舎 人事院 東北事務局

中国農業研修生の民泊研修先を募集

宮農大に留学している中国農業研修生(一行十人)に、秋田県農家の日常生活を体験させるため、篤志農家に一泊二日程度の民宿研修を実施させることになりました。

宮農大では、受け入れしつくれる農家を募集しています。
▽実施期間及び期日：農繁期を除く。

く、七月から二月までの休、祝祭日。

▽研修依頼農家：自家用車で送迎が可能。日中友好親善に理解と関心を持つ篤志農家。

▽研修方法：(1)研修中は客扱いせず農作業、その他の労働を含めて、ありのままの農家生活を体験させる。(2)できるだけ近隣の青年との交歓・交流も計画しつめらう。(3)二人一組で研修させる。

▽経費：受け入れ農家の厚意により無料にしてもらいます。

▽申し込み先：合川町下杉字上清水沢十五、一、県立宮農大 電話：一八六七八―三二四四

停電のお知らせ

六月の作業停電は、次の地区です。
▽15日：太田地区(午前九時から四時まで) 19日：藤株地区(午前九時から一時まで)

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。
▽舟場：佐藤忠光さんから亡父忠治さんの香典返し
▽新舟見町：河田恭治さんから亡父英治さんの香典返し
▽綴子上町：高橋力雄さんから亡父善藏さんの香典返し
▽大町：戸沢茂さんから亡父喜市

さんの香典返し
▽綴子大畑：小笠原栄蔵さんから亡母ヨシさんの香典返し



誕生おめでとうございます
6月1日~6月15日

- 山口 貴子(甚一郎二女) 明利又
- 沢田 あさみ(一文長女) 前山
- 畠山 直子(正夫二女) 前野
- 津谷 大生(広道二女) 緑ヶ丘
- 花岡 裕紀(義則二男) 大堤
- 九嶋 郁美(静夫長女) 岩脇
- 佐藤 将一(政美長男) 藤株
- 佐藤 拓真(弘信長男) 脇神
- 館岡 涉(正広二男) 南鷹巣
- 田村 純一(重晴長男) 南鷹巣
- 笹村 瑞穂(信幸二女) 材木町
- 畠山 秀幸(栄治長男) 三ノ渡

二人の前途を祝福いたします

- 永井 亮 横町
- 佐藤 千鶴子 旭町
- 藤内 英悦 今泉
- 京谷 美恵子 阿仁町
- 桜庭 博 大館市
- 今川 美代子 糠沢
- 岩谷 常夫 摩当
- 武田 和子 今泉
- 山口 正治郎 小ヶ田
- 工藤 綾子 田代町
- 岩川 壽 松葉町
- 小林 むつ子 上阿仁

おくりあげます
長崎 フヨ(79歳) 松葉町